

# 「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2016年6月2日（木）9:30～15:30

作業項目：1）常緑樹天然林の除伐  
2）ナラ枯れ対策

9名が3班に分かれて作業した。うち1班（3名）はナラ枯れ対策班。5月に数回実施した濡れタオル・ビニールシート巻き作業で遣り残した、物置周辺と東海自然歩道沿いの10数本を、午前中と午後にかけてほぼ全部処置した。他の6名は2班に分かれ、干害防備保安林の南、44林班「は」地区の常緑樹除伐をすることにした。林間を明るくして陽光を呼び込み、生物多様性を豊かにしよう、というのが主目的である。そのため、繁茂し過ぎて林間を暗くしているアセビ、ヒサカキ、ツバキ等を適当に除伐し、また随所に残っている松の枯れ木等の伐採処理を行った。誤って広葉樹などを伐採してはいけないので、伐採対象とすべき木には、事前調査の段階であらかじめ白色のビニールテープで目印を付けてある。

あとで切り株の直径を測ってみると28cm、60～70年生程度の枯れ松だったが、やっかいな掛かり木になってしまい地上まで下ろすのに苦勞した。ロープや滑車付きシュリング、テコやフェリングレバー（幹回し機～これが一番役に立った）を駆使してやっと処理したが、3人＋応援1人の4人がかりで、これ1本に1時間以上かかってしまった。それ以外は順調に作業が進み、予定地域内の要伐採木（白テープ）はほぼ全部処理できた。ヒサカキ、アセビ、ツバキなどを適宜除伐整理したお陰で林間が透いて明るくなり、登山道から西北方はるか遠方の山並みまで見渡せるようになった。

【作業参加者】

宮本廣 倉谷邦雄 杉本佳英 斧田一陽 武田寿夫  
薦田佳一 丸山喜代司 後藤和子 秦康夫 計9名



① 集合写真(作業前)



② 集合写真(作業後)



③ 枯れ松の伐倒開始



④ 受け口

水準器で水平度を確認



⑤ 追い口 切る



⑥ 掛かり木となる  
滑車付きシュリングとロー  
プで引っ張ってみる



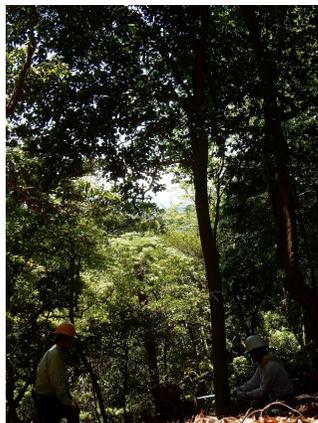
⑦ かなり位置が移動したが  
掛かり木から外れない



⑧ フェリングレバーで回  
して地上近くまで落と  
す



⑨ 丸太切りで漸く地上へ落とす



⑩ 除伐中



⑪ 除伐後



⑫ 除伐により明るくなった林間



⑬ 西北方面 遠望



⑭ 水切り溝整備



⑮ ナラ害防止シート巻き